第１学年生活科学習指導案

日時　　平成２７年１０月２１日
場所　　１年生教室
授業者　小山　道代

１．単元名　　「じぶんでできるよ」（１３時間）

２．指導について

（1）単元について

本単元「じぶんでできるよ」では，家庭生活について，調べたり尋ねたりすることを通して，自分の家庭生活を振り返り，家庭生活を支えている家の人のことや家の人のよさ,自分でできることなどについて考え,自分の役割を積極的に果たすとともに，規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

現代社会は，少子化や核家族化が進み，子どもが家族と様々な関わりを通して豊かな人間関係を身に付けることが難しくなってきている。そこで，子どもたちが改めて家族や家庭生活を見つめ直し，家族との関わりを通して絆を深め，家族のよさや温かさを実感することは大切であると考える。

本単元において，自分でできることを見つめさせ，さらにできることを増やし，家族に褒められて嬉しかったことから家族の関わりをもち，家族への感謝の気持ちを高めたい。

（2）児童の実態

１年生は，男子１０名，女子９名の合計１９名の学級である。素直で何事にも興味関心をもって取り組む児童が多い。学校生活の中では，係活動や当番活動に意欲的で，自分の役割を自覚し，毎日責任をもって仕事に取り組める子が多い。また，家庭生活においても保育園から小学校になり自分でできることが増えてきた。

夏休みに入る前に,子どもたちには「手創り夏休み」や「1 家庭 1 ボランティア」を活用しながら「お手伝いをしよう」と呼びかけ，保護者にも懇談会の折に協力を依頼した。子どもたちは家の人に支えられて，食事の準備や洗濯物たたみなどに挑戦し，子どもたちなりに家族の一員として頑張ったようである。

本単元では，夏休みに家庭で自分がしてきたことを思い出し，自分でできそうなことを見付けて，実際に家庭で取り組む時間を設けた。その取り組みをおうちの方に褒めていただいたり，認めていただいたりすることで自分でできることに自信をもち，さらに，自分でできることを増やしていきたいという意欲を高めていきたい。

３．研究主題との関わり

研究内容（1）のアに関わって

児童にとって生活の基盤である家庭生活を取り上げ,家族とのつながりを大切にして教材化を図った。家庭生活を振り返りながら，おうちの方の仕事の量の多さを知り，自分たちにもできることに取り組んでいこうとする意欲をもたせ，実際の期間を設け，発表会を通してさらにできることを増やしていく。

研究内容（1）のイに関わって

本時の導入では，自分でできることを増やすために仲間の発表を聞くという視点をもたせる。そのために次に取り組んでほしい内容が書かれたおうちの方からの手紙を読ませて，交流で新しい仕事を見つけようとする意欲を高める。

研究内容（2）のアに関わって

本単元は，子どもたちが家族のために自分でできることを増やしていけるよう仕組んだ。「自分でできるよ大作戦パート１」「自分でできるよ大作戦パート２」を中心に，自分を見つめる時間，実践，発表，仲間の取り組みから気付く場面と，役割を明確にして単元を構成した。

研究内容（2）のイに関わって

本時の終末では,「パート２でやってみたいお手伝いは～です。わけは，～です。」という話型をもとに全体交流だけでなく，ペア交流の場を設け,「自分でできるよ大作戦パート２」のお手伝いを決めようとしているか見届けをする。

研究内容（3）のアに関わって

本時は追究活動として交流活動を位置付けた。発表する人だけでなく，聞く人の話型「～さんの発表を聞いて・・・分かりました。(気付きました。)」も示し，仲間が取り組んだお手伝いのよさを話せるようにした。また，発表を聞くだけではなく，発表する側も聞く側も実際の物を使って体験するという活動を取り入れた。

研究内容（3）のイに関わって

自分で取り組みたいと思うものを決定するために１回の交流だけに終わらず，相手を変えて２回は行う。違った内容の仕事を，実際にやってみるという体験をさせることで,「自分でできるよ大作戦パート２」の仕事の内容を明確にさせ，取り組みに意欲をもたせたい。

４，単元指導計画（全１３時間）

目標	家庭生活について，調べたり，尋ねたりすることを通して，自分の家庭生活を振り返り家庭生活を支えている家の人のことや，家の人のよさ，自分でできることなどを考え，自分の役割を積極的に果たすとともに，規則正しく健康に気を付けて生活できるようにする。	視点	ア　健康で安全な生活　イ　身近な人々との接し方　カ　情報と交流
		内容	（２）家庭と生活　（８）生活や出来事の交流　（９）自分の成長
		対象	⑤家族　⑥家庭　⑨自分のこと

時		ねらい	主な学習活動	児童の意識の流れ	気付きの質の高まり	評価基準	指導・援助
1 2 3	じぶんの一日を見つめよう	自分の家庭生活を見直し，成長した自分に気が付くことができる。	○家庭での，自分の一日の生活を振り返る。 ○自分の一日の生活をできるよカードに書く。 ○自分ができるようになったことを見付ける。	「家でどんなことをしているのかな。」 ・宿題をしているよ。 ・学校の準備をしているよ。 ・ごはんを家族で食べているよ。 ・手洗い・うがいをしているよ。 ・歯磨きをするよ。 「自分でできるようになったことは何かな。」 ・朝，自分で起きているよ。 ・学校の準備を自分でしているよ。 ・おうちの仕事はたくさんあるよ。 ・家の人は何をしているのだろう。	・家でどんなことをしているかな ・家族でご飯を食べているよ。 ・手洗い・うがいをしているよ。 ⇩ ・自分で学校の準備をしているよ。 ・自分で起きているよ。 ・自分でできるようになったことが少し増えたかな。 ⇩ ・おうちの人は何をしているのかな。 ⇩	・自分の一日の生活に関心をもち，成長した自分を見つめようとしている。 【関・意・態】 ＜発言・できるよカード＞ ・食事や睡眠など，規則正しく健康的な生活をすることに気付いている。 【気付き】 ＜発言・できるよカード＞	・多様な家庭環境があり，多様な家族構成がある。友達と比べ合いにならないよう，十分配慮する。 ・朝起きてから夜寝るまでの，家庭の生活について想起させ，できるよカードにまとめる活動を通して，自分の一日の生活に関心をもてるようにする。
4 5 6 7 8 9 本時	自分でできることをしよう	家の人がしていることや家の人にしてもらっていることに気付き，その中から，自分のできることを考えて，実行することができるようにする。	○家の人がしていることや家の人にしてもらっていることを振り返る。 ○「自分でできるよ大作戦パート１」の計画を立てる。 ○家庭で取り組む。 ○中間発表会をする。 ○家庭で取り組む。 ○仲間の発表を聞いて，次に自分でできることを見付けよう。	「おうちの人はどんなことをしているかな。」 ・買い物をしているよ。 ・ご飯を作っているよ。 ・洗濯物をたたんでいるよ。 ・掃除をしているよ。 「自分には何ができるかな。（自分でできるよ大作戦パート１）」 ・洗濯物たたみ・食器並べ ・食器洗い・風呂掃除 「仲間のやり方やこつを知りたいな。」 ・こつを教えてもらったから前よりうまくできるよ。やってみよう。 「自分でできるよ大作戦パート１でできることが増えたね。おうちの方に褒められ嬉しかったね。できることを増やしたいね。次は何をしようかな。」 ・洗濯物は端と端をそろえるときれいにたためるんだね。やってみようかな。	・おうちの人がやることはたくさんあるな。 ・大変だな。 ・自分にできることはあるかな。 ⇩ ・洗濯たたみならできそうだな。 ・風呂掃除をしようかな。 ⇩ ・端と端をそろえるときれいたためるんだね。 ・風呂に入ってゴシゴシこするときれいになるよ。 ⇩ ・今度は○○に挑戦してみようかな。 ⇩	・家の人がしていることや，家の人にしてもらっていることの多さに気付くことができる。 【気付き】 ＜発言・できるよカード＞ ・自分でできることを見付け，計画を立てて取り組んでいる。 【思考・表現】 ＜発言・できるよカード＞ ・家庭の温かさや家の人のよさに気付くとともに，じぶんでできることや自分の役割に気付いている。 ＜発言・できるよカード＞	・通信を通して，活動内容やねらいを各家庭に伝え，協力を依頼する。 ・「自分でできるよ大作戦パート１」継続的に取り組んでもらえるようにする。 ・自分が取り組んだことについて，実演などを交えるなどして発表し合う中で，これからも続けたり，新たなことを挑戦したりしようとする意欲を高める。 ・実践してよかったことを振り返る中で，家庭の温かさや家の人のよさ，自分のよさや役割にも気付くことができるようにする。 ・家庭で実践したことを友達と情報共有することにより，さらに視野を広げたことを見付けたりできるようにする。
10 11 12 13	これからもつづけよう	自分の家庭での役割を継続的に果たしたり，増やしたりするとともに，生活のリズムを大切にして，健康に気を付けて生活できるようにする。	○「自分でできるよ大作戦パート２」の計画を立てる。 ○家庭で取り組む。 ○自分が続けてきたことを伝え合う。 ○自分が家庭で続けていることやよかったことを発表し合う。 ○家族に手紙を書く。	「自分でできるよ大作戦パート２に挑戦しよう。」 ・風呂掃除をしよう。 「自分でできるよ大作戦発表会をしよう。」 ・自分でできることが増えてよかった。 ・おうちの人に褒められて嬉しかったよ。 ・いろいろな仕事に挑戦してお母さんを助けれてよかったよ。	・○○さんのようにお風呂掃除をしよう。 ⇩ ・お風呂からキュッキュッと音がしてきれいになったよ。 ・食器洗いをしたよ。 ⇩ ・お母さんに喜んでもらえて嬉しかった。 ・家の人の役に立てれてよかった。 ・これからも続けよう。	・家庭の一員として，継続的に自分の役割を果たしたそうとしている。 【関・意・態】 ＜発言・できるよカード＞ ・自分でできることや，家庭生活における役割が増えた自分や友達の成長，よさに気付いている。 ＜発言・手紙＞ 【気付き】	・１週間の取り組みになるので，学校生活の中でも自分の取り組みを続けている児童を取り上げるなど，活動への意欲が続くような支援を行う。 ・振り返りの際には，自分自身の成長に気付くことができるようにする。

５．小単元指導計画　（自分でできることをしよう　６時間）

時	ねらい	学　習　活　動	【評価基準】（評価方法）
4	家の人がしていることや家の人にしてもらっていることの多さに気付くことができる。	①　自分の一日の生活の中で家の人がしていることは何か思い出す。 家の人がしていることや自分がしてもらっていることはどんなことがあるだろう。 ②家の人がしていることやしてもらっていることを発表する。 家の人がしていることはたくさんあるなあ。 お母さんを助けたいな。自分にできることはないかな。	【気付き】 家の人がしていることや，家の人にしてもらっていることの多さに気付くことができる。 （発言・できるよカード・自己評価）
5	自分にできることを考えることができる。	①夏休みに家で挑戦したことを想起する。 自分にできることを見付けよう。 ②自分にできそうなことを考え，発表する。 夏休みに挑戦したことをもう一度やってみよう。 家族のために自分ができることを増やしたいな。	【思考・表現】 夏休みに挑戦したことを思い出しながら，自分にできることを考えることができる。 （発言・自己評価）
6	「自分にできるよ大作戦パート１」の計画を立てることができる。	「自分でできるよ大作戦パート１」の計画を立てよう。 ①仕事を何にするか決め，できるよカードに書く。 洗濯物たたみに挑戦するぞ。 風呂掃除をやってみよう。 「自分でできるよ大作戦パート１」を家庭で取り組む。	【思考・表現】 自分でできることを決め，できるよカードに書くことができる。 （発言・できるよカード・自己評価）
7	「自分でできるよ大作戦パート１」の中間発表ができる。	①　「自分でできるよ大作戦パート１」を振り返る。 「自分でできるよ大作戦パート１」の中間発表会をしよう。 ②　同じ仕事同士のグループ発表会をする。 ③　全体交流をする。 「自分でできるよ大作戦パート１」を家庭で取り組む。	【気付き】 同じ仕事の発表を聞いて自分の仕事のやり方やこつに気付くことができる。 （発言・自己評価）
8	「自分でできるよ大作戦パート１」で取り組んできたことを振り返ってできるよカードにかくことができる。	①　「自分でできるよ大作戦パート１」を思い出す。 「自分でできるよ大作戦パート１」で取り組んだことをできるよカードに書こう。 ②　お仕事のやり方・こつ・頑張ったこと・おうちの人の言葉などをできるよカードに書く。 洗濯物たたみは端をそろえるときれいにたためるよ。 おうちの人がほめてくれて嬉しかったよ。	【思考・表現】 自分が取り組んだことを振り返って，やり方やこつなどをできるよカードに書くことができる。 （発言・できるよカード・自己評価）
9 本時	「自分でできるよ大作戦パート１」の仲間の発表を聞いて，次に自分でできるようになりたいことを見付けることができる。	①　おうちの方からの手紙を読む。 ②　課題を設定する。 仲間の発表から，「自分でできるよ大作戦パート２」でできるようになりたいことを見付けよう。 ②　「自分でできるよ大作戦パート１」をペアで発表し合い体験する。 仲間の発表を聞いて次に自分でできるようになりたいことを見付ける。 「自分でできるよ大作戦パート２」でできるようになりたいことは、洗濯物たたみです。わけは、〇〇さんの発表を聞いてタオルは端と端を揃えるときれいにたためることが分かったからです。	【気付き】 仲間の発表から次に自分でできることを見付けることができる。 （発言・自己評価）

６．本時の目標

「自分でできるよ大作戦パート１」で取り組んだ仲間の発表を聞いて，仲間が取り組んできたことのよさが分かり，次に自分でできるようになりたいことを見付けることができる。

７．本時の展開

段階	ねらい	主な学習活動	◎指導・援助 ・資料	【評価規準】 ◇キーワード
つかむ	本時の課題をつかむことができる。	1．おうちの方からの手紙を読む。 ・お母さんが喜んでいた。 ・褒められたい。 ・お母さんに褒められて嬉しいな。 ・もっとできることを増やしたいな。 2．本時の課題を設定する。 仲間の発表から，「自分でできるよ大作戦パート２」でできるようになりたいことを見付けよう。	・おうちの方からの手紙 ◎おうちの方からの手紙から，できることを増やしたいという思いを高める。 ◎「自分でできるよ大作戦パート２」を少しずつ提示し，パート２へ意欲を高める。	
学び合う	自分の取り組んできたことを発表することができる。 仲間の発表を聞いて次に自分のできるようになりたいことを決めることができる。	３．発表の準備をする。 ・発表の順序ややり方を確認する。 ・仲間の発表から仕事のやり方やこつを聞き取り，次の仕事を見付けることを確認する。 ４．ペアで発表し合い，体験する。 ・私は洗濯物たたみに挑戦しました。はじめに，ハンガーから洗濯物を外します。次に，端と端をそろえます。そして，洗濯物をたたみます。最後に洗濯物をタンスに入れます。洗濯物たたみの１つめのこつは，しわをのばすときれいにたためます。やってみます。２つめのこつは，端と端を揃えるときれいにたためます。お母さんに「きれいにたためたね。」と褒められて嬉しかったです。 ↓ ・～さんの発表を聞いて，タオルは端と端をそろえるときれいにたためることが分かりました。やってみたら上手にできたのでパート２でやってみたいです。 ・私は風呂掃除に挑戦しました。はじめに，風呂に水をかけます。次に，洗剤に風呂をかけます。そして，スポンジを使ってこすります。最後に水で流します。風呂掃除の１つめのこつは，風呂の中に入って何回も同じところをこするときれいになります。やってみます。２つめのこつは上から洗うこと洗剤と汚れが落ちます。やってみます。きれいになると家族が喜んでくれたので嬉しかったです。 ↓ ・～さんの発表を聞いて，風呂の中に入って何回も同じ所をスポンジでこするときれいになることが分かりました。やってみたら，～さんに褒められたのでパート２でやってみたいです。 ↓ パート２では，○○ができるように挑戦しよう。	・発表する時の資料や用具 ・お手伝いの種類 ・洗濯物たたみ ・風呂掃除 ・食事の準備 ・食器運び ・テーブル拭き ・食器片付け ◎発表する側は「～に挑戦しました。…。」聞く側は，「～さんの発表を聞いて…分かりました。（気付きました。）」という話型を提示し交流できるようにする。 ◎発表を聞いたり，実際にやってみたり体験することを通して，パート２に向け，できることを増やそうとする意欲を高める。	【気付き】 「自分でできるよ大作戦パート１」で取り組んだ仲間の発表から，仲間が取り組んだよさが分かり，次に自分にできることを見付けることができる。
振り返る	今日の振り返りをして，次の活動に対する意欲を高めることができる。	５．今日の学習を振り返り，次の仕事を決めることができる。 ・「自分でできるよ大作戦パート２」でできるようになりたいことは，洗濯物たたみです。わけは，○○さんの発表を聞いてタオルは端と端を揃えるときれいにたためることが分かったからです。 ・「自分でできるよ大作戦パート２」でできるようになりたいことは，風呂掃除です。わけは，やってみたら，○○さんに褒められたからです。	◎振り返りの時間を十分確保し，パート２のお手伝いが決められているか，話型を提示する。全体で例文を共通理解した後，ペアでも確認する。	◇できるようになりたいこと